

令和3年度 NPO活動資金助成団体・助成事業一覧

No.	区分	団体名	事業名	当初交付額 (円)	確定額(円)
1	スタートアップ	NPO法人 すぎなみ子どもサポート	地域学習推進事業(プロによる中学生の排球指導)	224,000	160,000
2		NPO法人 DANKAIプロジェクト	みんなの食堂ルンルンとルンルン学習室(無料)	290,000	158,800
3		NPO法人 防災コミュニティネットワーク	レッツボウサイプロジェクト防災食堂&防災ウォーク	389,000	387,329
4	ステップアップ	NPO法人 COSMO FEST	杉並区内映画館での上映会	115,000	111,603
5		NPO法人 竹箒の会	わが街アートカードで健康長寿	180,000	180,000
6		NPO法人 てんぐるま	誰一人取り残さない学校教育を考える杉並アクション	150,000	150,000
7		NPO法人 むさしの児童文化協会	口演童話の普及と講師養成	152,000	126,371
合 計 7件				1,500,000	1,274,103

## NPO活動資金助成金対象事業報告書(令和3年度)

団体名	特定非営利活動法人 すぎなみ子どもサポート
事業名	地域学習推進事業(プロによる中学生の排球指導)
事業(該当区分に○)	①. スタートアップ事業 2. ステップアップ事業
事業概要	部活動が縮小し、中学生の文化・スポーツ活動を地域が担うようになると考え、そのパイオニアとなるべく、まずはバレーボールの合理的で質の高い練習を提供します。それを公開し、地域の方々や保護者もボランティアや観客として参加することで、今後の部活動見守り等に繋げられるよう「地域が支える学校」の裾野を広げる一助とします。 今年度はウイズコロナ環境を前提として、練習を記録しマニュアルを作り、生徒達が自分達だけで練習する時も確認が出来たり、日々活用出来るようにします。
事業目的	部活動は無料でスポーツ・文化活動に参加出来る公平で貴重な機会です。その縮小は、家計事情による学習機会格差を生むものです。その補完のためのモデル作りをするため、回数が少なくとも、合理的な練習方法が身に付く機会、人数がいないと成立しない試合形式の練習の機会を提供します。

### 1 事業の実施状況 及び 自己評価

	事業計画	事業実施結果
実施 状況	<b>①実施対象者・対象人数(延べ人数)</b> A/区内中学生対象、個人参加。当初6校に声掛け、延べ96名(24名/回)の参加を予定。 B/参加生徒の学校のバレーボール部対象、延べ60名が参加予定。	A/松ノ木中、向陽中の生徒延べ40名参加(ボランティア・見学者延べ22名) B/松ノ木中学校バレーボール部生徒、向陽中学校バレーボール部生徒、延べ40名
	<b>②実施内容</b> A/V.B.TOKYOの高橋寛記氏(元FC東京Jr.監督)、鈴木裕子氏(元Vリーガー)が指導にあたる合同練習 B/Aの成果を部活動の場でフォローする	A/V.B.TOKYOの高橋寛記氏(元FC東京Jr.監督)、鈴木裕子氏(元Vリーガー)が指導し、合同練習 B/松ノ木中学校と向陽中学校の部活動訪問
	<b>③実施回数・スケジュール・実施場所</b> A/夏休み中に各2時間×2、終了後ミニ懇談会実施(地域の方々等10名含む)、冬休み中1回、2月中1回。於向陽中学校体育館 B/日時未定(各学校の部活動の時間)、各校体育館にて夏休み3校2時間、冬休み3校2時間。	A/① 8月23日(月) 13:30~15:30 ② 8月30日(月) 13:30~15:30 於松ノ木中学校体育館 ③ 2月6日(日) 13:00~15:00 於向陽中学校 ④ 2月27日(日) 9:30~11:30 於松ノ木中学校 ※ミニ懇談会は感染防止のため中止 B/松ノ木中学校バレーボール部訪問レッスン2回 ① 11月26日(金)16:00~18:00、② 1月14日(金)16:00~18:00、向陽中学校バレーボール部訪問レッスン2回 ①11月30日(火)16:00~18:00、② 1月17日(月)16:00~18:00
	<b>④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況)</b> A/参加者募集は松ノ木中学校担当教諭を窓口として各校に案内。コーチ2名、受付・動画撮影・記録等ボランティア8名、地域情報交流会ボランティア2名、行事保険を付保。衛生対策の徹底(換気・手洗い・汗拭きタオルの個々使用等)、地震・火災等発生時の避難行動の事前確認と周知徹底。 B/コーチ1名、付保せず。	A/参加募集は松ノ木中を中心に近隣中学校にチラシ配布を依頼したが、協力の程度に差があった。8月の2回はコーチ2名、コーチ補助2名、受付・動画撮影・記録係等ボランティア6名。2月の2回はコーチ1名、コーチ補助2名、受付・写真撮影3名。 B/コーチ1名、付保せず。
	<b>⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況)</b> チラシ配布、団体WEBサイト、SNS、広報すぎなみ、すぎなみ地域コム等。	中学生が興味を持ってくれそうなチラシを制作し配布した。コロナ禍のためPRを制限しチラシ配布のみとなった。

2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

事業計画時		事業実施後
<b>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>		
生徒数減少・顧問不足・教員の働き方改革から部活動が縮小してきているのが実情であり、第3分区に於いても、6校中3校からバレーボール部が廃部。その現状をふまえ、2019年12月に試行となる「わくわくレッスン」を実施。教員や生徒の声を得て本事業の実施の決定に至った。また、2020年参加の保護者から改めて指導者不足の実態が語られ、改めて合同練習の必要性を感じた。また、参加生徒からは継続実施を求める声を多く聞いていた。	合同練習は4回、部活動訪問レッスンは2校に対して2回実施したが、コロナ禍中のため大々的な他校との合同練習は望ましくないとの意見も多く、結果的には会場校生徒のみの参加となった。しかしその条件下であっても、顧問の先生やコーチからは指導方法に対する気付きを得たとの意見が語られ、生徒と共に継続実施を求める声を多く聞くことができた。	
【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input type="checkbox"/> ①あった <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねあった <input type="checkbox"/> ③あまりなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった		
<b>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</b>		
会員には民生児童委員、学校地域コーディネーター等地域活動の担い手が多く在籍。細って行く部活動を、これまでの活動で培ってきた多くのパイプを生かして、カバーしていく。	これまでの活動で培ったパイプを生かし適任であるコーチの確保が出来た。また地域の様々な方々に協力を得た。	
【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>		
① 回数を重ねることで関わる人達が増え、生徒のために地域の方々が集まり、コミュニティの再生が始まると考える。② 生徒が部活動に活かせるアクティブラーニング的練習方法を身に付けられる。③ バレーボール部の無い学校の生徒にもバレーボールに触れる機会を提供出来る。④ 生徒がティーチングではなくコーチングによる指導を受けられる。⑤ 回数を重ねることで改良を続け、練習方法もより良い手法が確立されていく。	生徒たちのアンケートを見ると、「コロナ禍で対人パスが出来ないのですが、一人で出来る練習をたくさん教えてもらいました」「いつもとは違う視点からアドバイスをもらいました」「練習の中で頭を使うことや気が付くことが多かった」「普段の部活動でやらない事や初めてやる事があって、、、」などという言葉があった。生徒達にとって期待した効果は一定数あったものと思われる。	
【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>		
教員OBや地域の人々が球拾いや写真撮影をし、皆が支えてくれることを生徒が実感した。また、2020年度実施の際に見学に来てくれた保護者が今回は支援者となり、実施に向けての協力、広報活動や連絡等の手伝いを担ってくれた。		
【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input type="checkbox"/> ①広がった <input checked="" type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかった		

効果・成果  
及び  
自己評価

3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

自己評価	昨年度から続くコロナ禍の中、生徒たちは依然として部活動を制限されており、当初描いたような多くの学校や地域の方々が集まって参加するようなかたちでの実施は困難だった。
	<p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p><input type="checkbox"/> ①できた      <input type="checkbox"/> ②概ねできた      <input checked="" type="checkbox"/> ③あまりできなかった      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった</p>

4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	チラシにロゴを入れ、のぼりを立て募金箱を置いた。
	<p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p><input type="checkbox"/> ①できた      <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった</p>

5 課題と今後の活動について

今後課題の活動	杉並区のNPO活動資金助成事業と告知しただけではチラシ配布の協力を得られなかった学校もあったので、区の後援という形を得ることの重要性を感じた。また、コロナ下でどのように活動をしていくかは未だ模索中であるが、生徒達にとって確実に有益な取り組みだと思うので、継続して努力したいと思う。
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真などを貼付



7 収支決算

事業費	[D]	173,459	助成金	[E]	160,000
-----	-----	---------	-----	-----	---------

	収入	
	予算額	決算額
団体負担金	22,548	8,959
参加費・資料代等	36,000	4,500
その他の収入		
計	[C] 58,548	[F] 13,459
助成金	[B] 224,000	[E] 160,000
合計	[A] 282,548	[D] 173,459

費目	予算額		決算額		決算額内訳
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費	
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)			32,000		バレーボール指導謝礼 @8,000/時間×2時間×2名 8/23
			32,000		バレーボール指導謝礼 @8,000/時間×2時間×2名 8/30
			16,000		バレーボール指導謝礼 @8,000/時間×2時間×1名 11/2
			16,000		バレーボール指導謝礼 @8,000/時間×2時間×1名 11/3
			16,000		バレーボール指導謝礼 @8,000/時間×2時間×1名 1/14
			16,000		バレーボール指導謝礼 @8,000/時間×2時間×1名 1/17
			16,000		バレーボール指導謝礼 @8,000/時間×2時間×1名 2/6
			16,000		バレーボール指導謝礼 @8,000/時間×2時間×1名 2/27
小計	224,000		160,000	0	
②旅費・交通費				5,180	バレーボール指導者交通費 2名 8/23-8/30
				1,966	バレーボール指導者交通費 1名 11/26-11/30
				1,100	バレーボール指導者交通費 1名 1/14
				866	バレーボール指導者交通費 1名 1/17
				866	バレーボール指導者交通費 1名 2/6
				1,100	バレーボール指導者交通費 1名 2/27
小計		0	0	11,078	
③備品費・消耗品費					
小計			0	0	
④通信運搬費					
小計			0	0	
⑤印刷製本費(デザイン・原稿作成含む)					
小計		30,000	0	0	
⑥使用料・賃借料					
小計			0	0	
⑦その他の経費				1,321	熱中症対策飲料
				1,060	コーヒとの打合せ茶代
小計		28,548	0	2,381	
合計			160,000	13,459	64,000 戻入額[B]-[E]
	224,000 [B]	58,548 [C]	160,000 [E]	13,459 [F]	
	[A] 282,548		[D] 173,459		

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

# NPO活動資金助成金対象事業報告書(令和3年度)

団体名	特定非営利活動法人DANKAIプロジェクト
事業名	みんなの食堂ルンルンとルンルン学習室(無料)
事業(該当区分に○)	①. スタートアップ事業 2. ステップアップ事業
事業概要	近隣の小学生を対象に無料勉強室「ルンルン学習室」を週1回開室し、その中の希望者と家族、近隣の高齢者を対象に同じ日に食事を提供し、地域コミュニティの創造の一助とする。
事業目的	格差の進行に危機感を感じており、ニーズのある子どもたちの学ぶ機会を少しでも増やしたい。また、子ども及び一人暮らし高齢者が一緒に食事し団欒の機会を作ることによって、子どもたちや高齢者の生活に関心を持つ地域コミュニティの創造に貢献したい。

## 1 事業の実施状況 及び 自己評価

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	①実施対象者・対象人数(延べ人数) ルンルン学習室の対象者は小学3年～6年、定員5名程度(延べ人数は175名程度) みんなの食堂ルンルンの対象者は学習室参加児童とその家族の希望者、定員は8名程度(延べ人数は280名程度)	ルンルン学習室とみんなの食堂ルンルン共通 助成期間中の延べ参加人数は、小学生72名(1回当たり平均3.0名、以下同じ)、講師・見学など34名(1.3名)、食事提供数は219食(9.1食)であった。
	②実施内容 ルンルン学習室は参加児童の自習をサポートする。 みんなの食堂はルンルン学習室参加児童とその家族の希望者に夕食(カレー)を提供する。 食費として児童は100円、大人は300円を徴収する。	7月7日七夕の飾り付け、12月15日ドミノピザ提供のピザパーティ、22日クリスマス会、1月12日書初めを行った。 7月21日参加者からコロナ感染者が発生したため、翌週から8月末まで4回休止。 2022年1月下旬から感染拡大で近隣小学校で学級閉鎖が増えたため、大事をとって1月26日から2月16日まで4回休止。 以上のほか、事情があつて休止したのは、7月14日、9月22日、1月5日の3回であり、休止回数は合計11回であった。
	③実施回数・スケジュール・実施場所 いずれも毎週水曜日で、学習室は17時30分～18時30分、食堂は学習室終了後から19時30分ごろまで。 6月から2022年2月末日まで35回を予定。 実施場所はいずれも杉並区善福寺2丁目 藤澤節子宅。	6月2日から2022年2月末まで、24回実施した。 ルンルン学習室は毎週水曜日午後5時30分～6時30分まで(準備は4時開始)、みんなの食堂ルンルンは毎週水曜日午後6時30分ごろ～7時30分まで(8時まで片付け)。 実施場所は、両者とも杉並区善福寺藤澤節子宅である。
	④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況) 開始前にスタッフとボランティアが会場の清掃と消毒を行い、調理を始める。 学習サポートは大学生ボランティアとスタッフ。 盛り付け・配膳・片付けは若いスタッフ・ボランティアと学生ボランティアが行う。	学習サポートのボランティア学生人数は延べ31名(1回平均1.3名)、スタッフとボランティア延べ人数は135名(同上5.6名)。開始前の会場清掃・消毒と調理はボランティアが担当した。 学生については亜細亜大学教職課程の学生を、教員の協力を得て直接募集した。保健所から冷蔵庫を置くようアドバイスをもらい中古品を購入した。 参加者には入室時に検温と手指消毒、マスク着用を求めた。学習机を購入し、対面仕切りアクリル板を設置した。 盛り付け・配膳には高学年の参加児童の協力も求めた。
	⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況) チラシ配布のほか団体WEBサイト・SNS・広報すぎなみ・すぎなみ地域コムを活用する。 近隣の小学校(教員など)やコミセンなどに働きかける。	まず、チラシを200部作成。 幟旗を作成し、会場前に設置し、活動をアピールした。 団体WEBサイトには開始を掲載したが、更新はあまりできなかった。 すぎなみ地域コムへ参加したが、あまり活用できていない。SNSでは発信していない。広報すぎなみには一度、取り上げてもらった。 近隣の小学校の教職員との連絡体制は継続した。 コミセンまで手をのばせなかった。

## 2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

	事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	<b>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>	
	<p>貧困家庭の子どもたちの学習環境が不十分である状況が教育における格差を生んでいることを少しでも解消したい。</p> <p>また、子どもや高齢者の「孤食」の状況も存在しており、彼らにみんなと一緒に食事する楽しさや団欒の機会を提供したい。</p>	<p>参加者が定員近く集まったことがニーズの存在を示す。参加児童も家庭、学校に次ぐ第三の「居場所」として魅力を感じてくれており、余儀なく休むときは、「残念！」「行けなくてつまらない」という感想をよこした。</p> <p>保護者も高く評価している。また、地域の人々も、余った食材を提供するなど、支援してくれる。</p> <p>NPO団体なども子どもたちと接する現場として提携できないか、関心を持っているようだ。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ①あった      <input type="checkbox"/> ②概ねあった      <input type="checkbox"/> ③あまりなかった      <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった</p>	
	<b>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</b>	
	<p>団体は元気な団塊世代・シニアが構成員で、メンバーには大学教員、薬剤師、健康相談員、看護師、ケアマネなど多様な職種の経験者を擁し、</p> <p>また地元の学校関係者とも知り合いが多く、元気なシニアや大学生ボランティアの応援を得られやすい特性を生かしたい。</p>	<p>スタッフ各自が、そのネットワークで大学・学生や学校関係者、医療関係者、自治体と連携を作り、ボランティアを集める上で力を発揮できた。市民活動の盛んな地域であることが、多様な市民を子ども食堂に引き寄せている。また、寄付食材のお米が大量に余りそうなので、亜細亜大学事務局に働きかけ、7月21日にお米32キロとその他の食品を亜大留学生40名に寄付することができた。</p> <p>また、その後、亜大にはお米の保管場所を2022年1月下旬まで提供してもらった。スタッフが開拓した東北物産館(吉祥寺)や福島県会津坂下町の協力関係を構築できたことは食材確保の上で大いに助かった。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ①できた      <input type="checkbox"/> ②概ねできた      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった</p>	
<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>		
<p>みんなの食堂や無料勉強室のような活動が地域に多く存在するほど、その地域の社会資源は豊かになる。</p> <p>そうした活動を網の目のように張り巡らし、地域の人々への温かい関心を共有し、安心して楽しく暮らせる地域を作り出す効果を期待する。</p> <p>スタートアップの助成資金を得ることで、スムーズな着手ができ、同時に団体の認知度を高めることができる。</p> <p>これまで高齢者を主な対象としてきた団体の活動を子どもたちへ広げることができる。</p>	<p>地域で有名なカフェの隣で、建物も以前訪問薬局があった開放的な建物なので、活動の様子が通行する人々によく見えており、地域の関心を呼んだ。</p> <p>チラシ箱と幟旗を設置することで、地域の耳目を集める効果が増した。近所の方が、ジャガイモをお裾分けしてくれたことや、複数の主婦が、ボランティア参加に興味を示したことで、手応えを感じることもできた。</p> <p>また団体の活動としても、子ども分野を新しく開拓することができた。</p>	
<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ①できた      <input type="checkbox"/> ②概ねできた      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった</p>		
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>		
<p>作成したチラシを会場前に置いておくと、通りかかる区民などが、平均1日数枚持っていくので、メールなどで申し込みがあり、周知の効果はあった。学校の用語教員やスクールソーシャルワーカーと連携して、関心のありそうな児童を勧誘できた。知り合いの方が調理ボランティアを引き受けたり、近所の方が掃除ボランティアを申し出てくれた。区社協やすぎなみ子ども食堂ネットワークを通じて、NPO団体やボランティア団体、JA東京中央との提携が実現したり、ご近所の方の寄付に結びついた。全国子ども食堂支援センターむすびえを通じて、農水省・JAやフードドライブ、企業からの寄付を安定して確保できた。東北物産館や福島県会津坂下町の食材支援も得られた。すぎなみ子ども食堂ネットワークとして、近隣小学校を訪問し子ども食堂事業への理解を求めた。</p>		
<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ①広がった      <input type="checkbox"/> ②多少広がった      <input type="checkbox"/> ③広がらなかった</p>		

### 3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

自己評価	<p>コロナ禍で、参加者から感染者を出し、夏の4回分を休止したこと、2022年に入って近隣小学校での学級閉鎖やスタッフ周辺での感染の広がりにより、2月末までの4回分を休止したことが残念である。当初の35回の予定中、24回しか実施できなかったことは、参加児童に寂しい思いをさせ、申し訳なかった。他方で、子ども食堂支援のさまざまな輪を通じて食材の寄付をたくさんいただき、お米などは途中から購入も必要がなくなり、日本社会の底力を実感することができた。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input type="checkbox"/> ①できた                      <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた                      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった             </p>

### 4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	<p>NPO支援基金のぼりとリーフレット、募金箱、タペストリーを会場内に設置した。保護者や学校関係者にはNPO支援基金のアナウンスを行なった。さらに、団体作成のチラシと幟旗にはNPO支援基金マークを入れた。団体のホームページ・ブログなどで活動状況を報告する際に支援基金のことに触れたが、こちらはあまり更新していない。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input type="checkbox"/> ①できた                      <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた                      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった             </p>

### 5 課題と今後の活動について

今後の課題と活動	<p>すぎなみ子ども食堂ネットワークで他の子ども食堂団体と関わるようになったが、団体間の交流が不十分だと感じている。しおりを小学校に配布する活動に協力したが、子ども食堂実施団体として、杉並区とか地域コミュニティに対して、地域課題解決へ向けた提言活動を行えないかと思う。まずは、子ども食堂実施団体間の率直な意見交換を進めたいと思う。</p>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真などを貼付  
 ルンルン学習室で勉強する(左、中央)

みんなの食堂ルンルンでカレーを食べる(下)





7 収支決算

事業費	[D]	182,507	助成金	[E]	158,800
-----	-----	---------	-----	-----	---------

	予算額		決算額		決算額内訳
収入					
団体負担金		25,800		607	
参加費・資料代等		60,200		20,100	食堂大人会費@300円✳ 43名分、こども会費100円✳ 72名分
その他の収入		10,000		3,000	寄付等
計	[C]	96,000	[F]	23,707	自己資金等
助成金	[B]	290,000	[E]	158,800	NPO活動資金助成金
合計	[A]	386,000	[D]	182,507	

	予算額		決算額		決算額内訳
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費	
支出					
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)			4,000	0	臨時講師謝礼@4000円✳ 0.5時間✳ 1名✳ 2回
小計	12,000	8,000	4,000	0	
②旅費・交通費			21,100	20	区外在住スタッフ交通費@880円✳ 1名✳ 24回
			1,500	8	臨時講師交通費@754円(阿佐ヶ谷～善福寺)✳ 2回
			1,600	40	食材運搬時等駐車代7回・ピザ運搬タクシー代1回
小計	43,500	8,800	24,200	68	
③備品費・消耗品費			6,100	877	用紙・インク代・名札入れ
			17,600	2,044	学習参考書代・習字墨池・行事用遊び用品代
			25,000	720	食材など
			5,700	17	食器類
			28,000	10,244	学習机(折りたたみテーブル)・CO2測定器(以上は感染対策として)
小計	154,560	41,700	82,400	13,902	
④通信運搬費			1,000	260	切手代
小計	10,500	6,300	1,000	260	
⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む)			10,700	69	チラシ印刷代(150部・増刷50部)
小計	10,000	0	10,700	69	
⑥使用料・賃借料			9,400	9,320	個人宅使用料
					月家賃142,000円✳ 12ヶ月÷365日÷24時間✳ 4時間✳ 24回
小計	12,890	20,560	9,400	9,320	
⑦その他の経費			13,600	40	学生ボランティア交通費弁償分@440円✳ 31名分
			13,500	48	社協行事保険料@30円✳ 411名、振込料金1,218円含む
小計	46,550	10,640	27,100	88	
合計	[B]	[C]	[E]	[F]	131,200 戻入額[B]-[E]
	290,000	96,000	158,800	23,707	
	[A]	386,000	[D]	182,507	

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

# NPO活動資金助成金対象事業報告書(令和3年度)

団体名	特定非営利活動法人防災コミュニティネットワーク
事業名	レッツボウサイプロジェクト防災食堂&防災ウォーク
事業(該当区分に○)	①. スタートアップ事業 2. ステップアップ事業
事業概要	防災みんなの食堂では非常食をアレンジした食事の提供と防災意識向上のためのワークショップを開催し自助力の強化につなげる。そして、食堂を通して顔なじみになった地域住民が参加する防災ウォークで、助け合い「共助の精神」を育てることを目指す。
事業目的	本事業では、毎月1回開催する「防災みんなの食堂」を通じて、地域住民同士の顔の見えるつながりを創出することを目指す。そして、そのつながりを「防災ウォーク」を通して地域住民の助け合いと結束力の向上を狙う。いつ来るともわからない都市災害に備えて、防災福祉コミュニティの形成を目的とする。

## 1 事業の実施状況 及び 自己評価

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	<b>①実施対象者・対象人数(延べ人数)</b> ・ボウサイみんなの食堂 【対象者】西荻窪駅周辺の地域住民 年齢制限なし 【参加予定人数】各回20人 延べ参加人数180人  ・ボウサイウォーク 【対象者】西荻窪駅周辺の地域住民 年齢制限なし 【参加予定人数】各回10名 延べ参加人数20名	・ボウサイみんなの食堂 コロナ禍によりお弁当配食を実施のため食数を記載。 【配食数】6月60食、7月62食、8月24食、9月35食、10月46食、11月49食、12月54食、1月48食、2月47食 計425食  ・ボウサイウォーク 【参加人数】10月開催:参加者5名・ボランティア3名 計8名。 1月開催:参加者9名、ボランティア6名計17名 (スタッフを含まない)
	<b>②実施内容</b> ・ボウサイみんなの食堂 【内容】子どもから高齢者まで多世代にわたる交流を目的とし、食堂を通して防災意識の向上を目指す。  ・ボウサイウォーク 【内容】西荻窪駅から桃井原っぱ公園まで非常持ち出し袋を持ってウォーキングを行う。	【ボウサイみんなの食堂】 コロナ禍によりお弁当の配食の形で開催した。多世代の交流を図ることが難しい分防災に興味を持っていただくことを中心に展開。その工夫として、ボウサイカレーでアルファ米を食べていただくだけではなく備蓄用のアルファ米や乾パンを無償で配布し平時に調理し食べていただくことを提案。食べてみたら意外とおいしかった、水を入れすぎてうまく作ることができなかったと参加者からの声があった。この工夫から防災意識向上に繋げることができたと考えます。 【ボウサイウォーク】 10代~80代という多世代が意見交換を行いながらイベントを楽しんでいただくことができた。多世代がそれぞれの困りごとを意見交換することで新たな気づきにつながった。一人ひとりが持つ非常持ち出し袋の重さへの気遣いや声かけができていたことで、災害時における共助への意識も高めることができた。
	<b>③実施回数・スケジュール・実施場所</b> ・ボウサイみんなの食堂 【スケジュール・回数】令和3年6月16日~毎月1回第3水曜日(全9回)  ・ボウサイウォーク 【スケジュール・回数】令和3年10月10日、令和4年1月16日(全2回)	【ボウサイみんなの食堂】 令和3年6月16日~令和4年2月16日 毎月1回第3水曜日(全9回) 開催場所:防災コミュニティカフェひので  【ボウサイウォーク】 令和3年11月23日(火・祝)、令和4年1月30日(日) 開催場所:西荻窪駅から桃井原っぱ公園まで
	<b>④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況)</b> ・ボウサイみんなの食堂 【実施体制】防災士川島虎次郎氏、学生ボランティア  ・ボウサイウォーク 【実施体制】ウォーキング講師生井辰季氏、防災士、学生ボランティア	【ボウサイみんなの食堂】 回を重ねる毎にボランティア参加を希望する学生が増加。1月、2月は15名前後がボランティア活動を行った。その結果、多世代交流も実現し沢山の方への呼びかけや防災について広く周知することもできた。 【ボウサイウォーク】計画の通り開催。ボランティアは第1回目3名、2回目開催時は7名の参加があった。
	<b>⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況)</b>  でんごん君ポスター掲示、SNS(Twitter、LINE、HP周知)  ・ボウサイウォーク 【広報】10月15日すぎなみ区報掲載、杉並区役所内ラック100枚設置、でんごん君ポスター掲示、SNS(Twitter、LINE、HP周知)	両事業共に西荻地区数か所のでんごん君にポスター掲示、SNSにて開催のお知らせ、開催報告を行った。11月開催のボウサイウォークはすぎなみ区報掲載。杉並区役所内のチラシラックにチラシ100枚設置を依頼。図書館他、約30ヶ所にチラシ送付・設置を依頼した。

2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

		事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	<b>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>		
		都市における地域住民同士の関わり合いは、コロナ禍において一段と希薄化を増してきていると考えられる。そこで、地域コミュニティの再構築と地域共生を、すべての地域住民にとって共通の課題である防災を足掛かりに展開することで実現可能になると考えている。	コロナ禍によりお弁当の配食という形に変更したことで食数を増やし月平均50食を配布。交流ができない代わりに自宅に備蓄をしているかアンケートで聞き取ることで参加者の困りごとや防災意識も伺うことができた。ウォークにおいては町会長や西荻区民センター協議会の方も参加いただいたことで、今後より地域に根付いた活動展開が見込まれる。防災は多世代に関わる共通の課題であるが興味がないや後回しにしている地域住民に向けた仕組み作りを新たな問題提起とし次年度につなげたいと考える。
		【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>	
		<input checked="" type="checkbox"/> ①あった <input type="checkbox"/> ②概ねあった <input type="checkbox"/> ③あまりなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった	
	<b>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</b>		
		団体は、防災を通じたコミュニティの形成と、そのネットワークの構築を目的とし活動している。これまでの経験を活かし、非日常である災害の備えを、日常の防災で楽しく学ぶ「レッツポウサイプロジェクト」の一環として事業を行う。	ポウサイウォークでは活動エリアの防災に関する情報を活かし、入手し意味を理解し活用するかを重点的に行った。レッツポウサイプロジェクトに参加したことで生活における少しの気付きが参加者にプラスとなり、それぞれが持つコミュニティに広がり、ボランティアを含め活動への参加希望者が増加している。併せて地域の特性として西荻エリアは古くからの居住者と新たな居住者が混在していることが見えてきた。レッツポウサイプロジェクトがそこを繋ぐ新たな架け橋になると考える。
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
	<input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>			
	防災を楽しみながら身近に感じてもらうことができ、防災意識の向上につながる効果があると考え。主として西荻窪エリアを中心に開催するが、協力団体やボランティアの数が増えることで他地域への水平展開も可能になると考えられる。その結果、当団体の目的でもある防災を通じた地域コミュニティの形成とネットワークの構築が実現すると考える。	防災を身近に感じていただける内容展開ができたことで参加者、ボランティア数共に増加傾向となっている。特に中学生～大学生の若い世代のボランティア希望者が多いことから将来地域の担い手となる若い世代に向け社会問題、地域の課題を問題提起することができた。今後地域で活躍する若い防災リーダー育成への効果も期待できる。	
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>			
	SNSを活用し周知強化を図ったことで両事業ともに参加者(リピーター)やボランティアの増加数から当初想像した以上の支援者が広がったと考える。また地域円卓会議へも出席させていただいたことが地域特有の課題への理解を深める場となり地域活動を行う町会の方やNPO団体代表と連携に向けての第一歩となった。今後もこのつながりをより一層強化していくことで地域コミュニティ向上を目指す。		
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> ①広がった <input type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかった		

### 3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

自己評価	ボウサイみんなの食堂は防災という共通課題をとおしての多世代交流を見込んでいたが上記記載の通りコロナ禍により配食スタイルに変更したため予定通りとはならなかった。しかし、提供した食数の増加や周知強化を図り広く展開することで活動に共感した参加者、ボランティアが定着してきたことはとても大きな手応えだったと感じる。ウォークにおいては予定通り実施できた。両事業が防災福祉コミュニティの形成を目的とし展開できたと考える。
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b> <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった

### 4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	チラシの配布やSNSの活用、活動の際ののぼり旗掲示など概ねできたがもう少し啓発活動は行えただろうと感じている。
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b> <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった

### 5 課題と今後の活動について

今後の課題と活動	この9ヶ月間を通して両事業が地域に広がりを見せたことで住民同士の顔の見えるつながりができつつある。今後は「レッツボウサイプロジェクトのコンセプトのもと、関わる全ての人々が自助力の強化・共助の精神を養うことができるよう展開し防災福祉コミュニティの形成を実現を目指す。
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真を貼付









7 収支決算

事業費	[D]	437,329	助成金	[E]	387,329
-----	-----	---------	-----	-----	---------

	予算額		決算額		決算額内訳
収入	団体負担金	38,000	39,500		団体負担金
	参加費・資料代等	54,000	0		0 食堂参加費徴収せず
		30,000	10,500		防災ウォーク参加費 (11/23@1500×4名、1/30@500×9名)
	その他の収入				
	計	[C] 122,000	[F] 50,000		自己資金等
	助成金	[B] 389,000	[E] 387,329		NPO活動資金助成金
合計	[A] 511,000	[D] 437,329			

費目	予算額		決算額		決算額内訳
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費	
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)				15,000	防災士1回 防災介助士2回 @5000×3回(終日)
				12,000	ウォーキング講師@12000×1回(半日)
			48,000	18,000	講師補助@3000×2名×11回(終日)
	小計	66,000	79,000	48,000	45,000
②旅費・交通費			19,250		駐車場代10回
	小計	16,500	3,000	19,250	0
③備品費・消耗品費			9,959		紙インク文房具代
			195,400		非常食セット、持ち出し袋セット、炊飯器
			45,500		食材費@4550×10回
	小計	235,500	22,000	250,859	5,000
④通信運搬費					ワークショップ備品 ロープ
	小計	0	0	0	0
⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む)			25,220		チラシ作成6000枚
	小計	25,000	0	25,220	0
⑥使用料・賃借料			44,000		食堂使用料@4000円×11回
	小計	44,000	18,000	44,000	0
⑦その他の経費					
	小計	2,000	0	0	0
合計			387,329	50,000	1,671 戻入額[B]-[E]
	[B] 389,000	[C] 122,000	[E] 387,329	[F] 50,000	
	[A] 511,000		[D] 437,329		

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

# NPO活動資金助成金対象事業報告書(令和3年度)

団体名	特定非営利活動法人COSMO FEST
事業名	杉並区内映画館での上映会
事業(該当区分に○)	1. スタートアップ事業 2. ステップアップ事業
事業概要	日本全国から自主制作映画を募集しコンペティションを行う、杉並ヒーロー映画祭で取扱った作品を中心に、杉並区内の会場で上映会を実施。高円寺シアターバックスやラピュタ阿佐ヶ谷、久我山の会場で上映。
事業目的	自主制作映画を区民の方に、娯楽として純粋に楽しんでいただき、映画文化にもっと関心を持って頂くことを目的としています。身近に映画を体験できる環境を作ることで、地域の方々の生活をより豊かにすると同時に映画制作者の上映機会も増加し、芸術・文化の振興に繋がると考えております。その延長線上として、映画館の設立を将来的な目標としております。

## 1 事業の実施状況 及び 自己評価

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	<b>①実施対象者・対象人数(延べ人数)</b> ● 杉並区民及び周辺地域に在住の映画に興味を持つ者(目標 100 人) ● 映画制作者、またその関係者(目標 20 人) ● 杉並区内映画館の関係者(目標 10 人)	●参加者:10名 ●事業対象者(関係者) ・杉並区民及び周辺地域に在住の映画に興味を持つ者 ・映画制作者、またその関係者 ・杉並区内映画館の関係者
	<b>②実施内容</b> ● 映画祭での優秀作品をラピュタ阿佐ヶ谷、高円寺バックスシアターで上映 ● 同時に優秀監督過去作上映やトークショーなども実施。	●高円寺シアターバックスにて、上映会およびトークショー ●オンラインにて、上映およびトークショーの配信
	<b>③実施回数・スケジュール・実施場所</b> ● 映画祭開催後	●実施回数:2回 ●スケジュール 会場確保の関係で、映画祭の開催が22年1月と想定よりも遅くなったため、イベント前にも1回開催。 ●実施場所:高円寺シアターバックス、オンライン 新型コロナウイルス蔓延の影響で、2月に予定していたイベントはオンラインでの開催へと変更。 さらに会場の関係でラピュタ阿佐ヶ谷での上映は22年3月に変更。
	<b>④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況)</b> ● 映画館スタッフ及び自団体スタッフ 5 名 ● ラピュタ阿佐ヶ谷、高円寺バックスシアター協力要請済み	● 映画館スタッフ及び自団体スタッフ 5 名 上記の通り、ラピュタ阿佐ヶ谷での上映は映画祭の開催が遅くなったことにより3月に開催となりました。
	<b>⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況)</b> 団体WEBサイト、SNS	当団体のHPやSNS(Twitter・Facebook)や、映画館のHP、映画監督や映画関係者のSNSにて宣伝いたしました。

## 2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

		事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	<b>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>		
		2020 年度ラピュタ阿佐ヶ谷での上映会も好評で、協力をいただくことができより一層杉並区内でのニーズを感じられました。 座・高円寺 2 での映画祭に加え、ラピュタ阿佐ヶ谷、高円寺パッカスシアターでの上映でさらにニーズを掘り起こします。	高円寺シアターパッカスで初めて上映会を行うことで、映画館についているファンの方がお越しになり、新たな顧客との接点を作ることができました。  新型コロナウイルスの影響で、我々の想像以上に現場に足を運ぶことにまだ抵抗を感じている温度感もSNSなどで感じました。 オンライン上映をはじめとした新しい視聴方法など、新たなニーズとの接点作りにも力を入れていきたいと考えております。
		<b>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>	
		<input type="checkbox"/> ①あつた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねあつた <input type="checkbox"/> ③あまりなかつた <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかつた	
	<b>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</b>		
		制作者・鑑賞者双方に映画祭や上映会の需要があると考えます。 作品の上映機会が増えることで、映画制作者のような作り手とその映画を見る受け手、双方が満たされるだけでなく、多種多様な交流を生みながら、更なる芸術の需要が生まれるという構造にしていきたいです。 総合芸術である映画に触れる機会が増えることで杉並区の芸術・文化の振興に寄与できると考えます。	新型コロナウイルスの影響で、映画(特に自主制作のようなインディーズ映画)が苦境している中で、高円寺をはじめとした杉並区内で積極的に上映機会を創出したことで、杉並区への芸術・文化の振興に寄与できたと感じています。
		<b>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>	
	<input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかつた <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかつた		
<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>			
	映画祭プラスすでに知名度のある区内映画館での上映会を行うことで、地域の方々により一層映画を身近に体験して頂くことが出来る多くの人の芸術・文化への関心向上につとめ、杉並区の芸術・文化振興に貢献することが出来る。  杉並区内の映画館での上映を行うことで、地域に根差した団体としての認知度が向上し、杉並区内に映画館設立を設立するという将来的な目標に向け、活動基盤を強化することが出来る。	想定以上に、新型コロナウイルスの影響を受けたため、回数や方法は変更を余儀なくされましたが、上記のように杉並区の芸術・文化振興に貢献することが出来たと感じています。	
	<b>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
	<input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかつた <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかつた		
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>			
	本事業や映画祭内で団体の活動を紹介し賛同いただき会員になっていただきました。 映画関係者の中にも活動に理解いただき、積極的に協力いただくことができました。		
	<b>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> ①広がった <input type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかつた		

### 3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

自己評価	新型コロナウイルスや映画祭の会場確保の関係で、想定通りには実施に至らないこともありました。ただ、置かれた環境のやれる範囲で最大限実施することはできたと思います。
	2月に実施予定していたラピュタ阿佐ヶ谷での上映会は、3月に自己負担金で実施いたします。
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input type="checkbox"/> ①できた                      <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた                      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった             </p>

### 4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	上映会をはじめ、映画祭でもリーフレットや募金箱を設置いたしました。
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input type="checkbox"/> ①できた                      <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた                      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった             </p>

### 5 課題と今後の活動について

今後課題の活動	新型コロナウイルスの影響により、以前のような上映会や地域の方々との交流が減ってしまっていることを課題に感じております。 そのような中でも行える上映会や映画祭は実施できておりますが、我々の活動を理解いただけるようにSNSをはじめとして活動をもっと発信できるようにしていきたいと思っております。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真を貼付





## 7 収支決算

事業費	[D]	111,603	助成金	[E]	111,603
-----	-----	---------	-----	-----	---------

	予算額		決算額		決算額内訳
収入					
団体負担金					
参加費・資料代等		25,000			
その他の収入					
計	[C]	25,000	[F]	0	自己資金等
助成金	[B]	115,000	[E]	111,603	NPO活動資金助成金
合計	[A]	140,000	[D]	111,603	

費目	予算額		決算額		決算額内訳
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費	
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)			20,000		作品使用料5000円×4作品
小計	20,000	10,000	20,000	0	
②旅費・交通費					
小計			0	0	
③備品費・消耗品費			1,603		上映会備品(感染症対策備品)
小計	5,000	5,000	1,603	0	
④通信運搬費					
小計			0	0	
⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む)					
小計			0	0	
⑥使用料・賃借料			80,000		高円寺シアターボックス使用料40,000円×2回
小計	80,000	10,000	80,000	0	
⑦その他の経費			10,000		SNS広告費(TWITTER)
小計	10,000		10,000	0	
合計	[B]	[C]	[E]	[F]	3,397 戻入額[B]-[E]
	115,000	25,000	111,603	0	
	[A]	140,000	[D]	111,603	

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

# NPO活動資金助成金対象事業報告書(令和3年度)

団体名	特定非営利活動法人竹箒の会
事業名	わが街アートカードで健康長寿
事業(該当区分に○)	1. スタートアップ事業 (2.)ステップアップ事業
事業概要	データとして作成しているわが街アートカード65種を印刷して、実際のカードとして完成させたうえで、カードにあるアートを巡る「アート散歩」のためのMapも作成して、健康長寿に資するアイテムとして完成させたいと考えます。そのカードを使用してのアートカードゲーム・アート散歩を併せ行ってわが街アートカードを活かして活用していく所存です。
事業目的	今まで「わがまち一番体操」など健康長寿の取り組みが進められてきましたが、団塊世代が全て75歳になる2025年に向けて、認知症予防などに有効な追加対策として「運動系」に加えて「コミュニケーション系」の対策の導入が有意義と考えます。孤立しやすい高齢者の仲間づくり・居場所づくり、認知症予防、健康長寿など超高齢社会の地域課題解決にむけて、わが街アートカードを活用したいと考えます。

## 1 事業の実施状況 及び 自己評価

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	①実施対象者・対象人数(延べ人数) アートカードゲーム定期開催。特別開催 延べ240名～360名予定	アートカードゲーム定期開催(23回+臨時3回)。特別開催(1回) 定例高円寺南館1・3火曜日(2月までで23回)・高井戸西館3回 開催 延べ参加者253名
	②実施内容 ・特別講演会 ・ゆうゆう館を基本開催場所として開催するほかケア 24、福祉施設との連携も視野に入れて開催場所を 開拓予定。児童館、保育園、図書館)とのイベントにも 参加実施を考えている。	・アートカードゲームの実施 ・ゲーム内容の検討・修正 ・専門家より認知症予防の現状と課題を学習 ・アート散歩を実施、行程に無理がないかのチェック ・この事業を提供できる施設等の情報交換
	③実施回数・スケジュール・実施場所 ゆうゆう高円寺南館 月1回 第3火曜日午前 年間 12回 ゆうゆう高井戸西館 月1回 第2火曜日午前 年間 12回 ほか要請があるところに出向く。	ゆうゆう高円寺南館では月2回1・3火曜日に研究会開催。2月ま での間で23回開催。 高井戸西館ではケア24との共催での3回にとどまった。
	④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状 況) 1クラスに付アートカードコミュニケーター(カードゲ ム進行役)2～3名配置 アートカードコミュニケーターはすでに養成済み (在籍20名程度)	すでに養成済のコミュニケーター約20名のうち、活動に参加でき なかったもの、7名(コロナでの不参加がほぼ100%) 新たなメンバーとして、4名。登録上は25名
	⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況) [チラシ配布・団体WEBサイト広報すぎなみ・すぎな み地域コム ] [ その他ニーズの見込める団体、施設、NPO等へ の案内 など ]	・杉並区報掲載 ・浴風会だより掲載 ・地域コムに随時状況掲載 ニーズの見込める団体等への案内はコロナ下でもあり控えまし た。

2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

		事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	<b>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>		
		認知症予防などの対策として「コミュニケーション系」ツールが少ない現状において、現在行っているアートカードゲームを通じ、知的関心が非常に高い区民の新たなツールとしてアート、それも地元資産には非常に関心が高いことを実感しています。	アートカードでゲームや散歩を行うという今までにない事業に対して好奇心をそそる要素が大きかったようで、新たに参加した方からは、難しいわけではないが、頭がフル回転して、非常に良い経験ができた、ぜひ続けたいとの声をいただいた。
		【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b> <input checked="" type="checkbox"/> ①あった <input type="checkbox"/> ②概ねあった <input type="checkbox"/> ③あまりなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった	
	<b>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</b>		
		当会はゆうゆう館3館を受託しており、場所とスタッフを確保できます。また日ごろ、多くの元気な高齢者と接点があり、共にこの事業を興し育てていくことができます。加えてアートカード事業が4年目に入り、すでに杉並区内でのアートカードコミュニケーターも育てきて、この事業を推進していく母体が整っています。	ゆうゆう高円寺南館で協働事業として定期的な活動を行うことができました。またゆうゆう高井戸西館でも、ケア24高井戸との協働事業としてケア24圏域の方々にもお声掛けして行うことができ、ゆうゆう館のみの活動に終わらず広がりが感じられました。ケア24高井戸とは引き続き令和4年度も同趣旨の講座を開催予定です。
		【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b> <input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった	
	<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>		
	区内に公立美術館のない杉並区において、わが街杉並のアート資産の再確認をしつつ、カードゲームで右脳を活性化、かつそのアート資産を歩いて確認、成り立ち等の学習を行うことで、総合的な頭と体の活性化に資すると思われま。その際のきっかけとなるわが街アートカードの印刷水準を高い品質で保持することで、一層杉並区のアート資産への造詣が深まるものと考えています。	コロナ下ということもあり、多くの参加者を募る状況が厳しく、当初想定したように宣伝して新たな輪を大きく広げるところまではなかなか至らなかったかと思いますが、それでもケア24との関係等で、また活動の様子を垣間見た方から関心を持っていただいたりして、少ないながらも新たな真の理解者・協働者ができたと思っています。	
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b> <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>			
	当初よりご理解をいただき、支援をしてくださっていた東京都長寿医療研究所・鈴木宏幸氏は、当会とは別にご自身の研究テーマとしても組み入れてくださり、引き続き協働してくださる意向と伺っております。また、当会で行っている協働事業にも強い関心を持ってくださる方が新たなメンバーとして加わり、今迄の活動メンバーと親和して、理解者が増えました。活動に制限がある中、今迄このゲームに理解を示してくださった介護施設、等もコロナ収束後はぜひ行いたいとお申し出もあります。確実に理解者がふえたと感じます。		
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b> <input checked="" type="checkbox"/> ①広がった <input type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかった		

### 3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

自己評価	<p>アートカードゲームを開催するうえでのスキルアップの為専門家からのアドバイスのための講座を2回程度開催予定でしたが、東京都長寿医療研究所・鈴木宏幸氏のみ、講演会を開催できました。実際にわが街アートカードでのカードゲームにもご参加いただき、理解を深めていただきました。日本体育大学教授・奥村高明氏は、大学の外部での講演に対して許可が出ないとのことで、残念ながらおいていただけませんでした。定期開催は高円寺南館で予定通り行いました。他施設は、コロナ下において新たな活動を創出することが難しく、当初予定通りには開催が困難でした。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input type="checkbox"/> ①できた                      <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた                      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった             </p>

### 4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	<p>イベントの際には杉並区NPO支援基金の助成により行っていることを必ず口頭にてお知らせ、のぼりばたを設置しました。残念ながら寄付金をいただくまでには至りませんでした。わが街アートカード本体には支援基金助成の明記はできませんでしたが、今後の活動の際にはカードとマップのセットをケースに入れる予定で、そのケースにNPO支援基金助成のシールを貼る予定です。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input type="checkbox"/> ①できた                      <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた                      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった             </p>

### 5 課題と今後の活動について

今後課題と活動	<p>現在は、熱意の高い参加者が中心で活動している現状ですが、コロナ収束後は本格的活動に踏み出す準備期間として、高齢者、介護関係団体にとどまらず、どのような団体の要請にも応じられるコミュニケータースキルを磨くことを志しつつ、地道に活動を続けたいと考えております。</p> <p>課題はやはり多くの方々にゲームや散歩を体験していただき、その真のよさを理解してくださる様に活動を広げていきたいと思います。</p>
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真などを貼付  
鈴木宏幸氏講演会(2月1日)



他アート散歩実施の写真は別途送付



7 収支決算

事業費	[D]	180,000	助成金	[E]	180,000
-----	-----	---------	-----	-----	---------

	予算額		決算額		決算額内訳
収入					
団体負担金		80,000		0	
参加費・資料代等		0		0	
その他の収入		0		0	
計	[C]	80,000	[F]	0	自己資金等
助成金	[B]	180,000	[E]	180,000	NPO活動資金助成金
合計	[A]	260,000	[D]	180,000	

費目	予算額		決算額		決算額内訳
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費	
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)			20,000	0	2回予定が1回にどまったため
小計	20,000	20,000	20,000	0	
②旅費・交通費				0	参加者が辞退したため支払い発生せず
小計		50,000	0	0	
③備品費・消耗品費				0	開催ちらし等、団体本体の活動費より支出
小計		10,000	0	0	
④通信運搬費					
小計			0	0	
⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む)			30,000		「わが街アートカード・マップ印刷デザイン(A3八つ折り・両面カラー・50部・コート、110kg)
			120,000		「わが街アートカード4種類」印刷デザイン(ポストカード・両面カラー64種類×50セット・ホワイトミラー上質220kg、PP加工で片面脱出し加工)
			10,000		「わが街アートカード・マップ」セットケース・仕様書(A4十字おり・モノクロ・50セット)
小計	160,000		160,000	0	
⑥使用料・賃借料					
小計			0	0	
⑦その他の経費					
小計			0	0	
合計	[B]	[C]	[E]	[F]	0 戻入額[B]-[E]
	180,000	80,000	180,000	0	
	[A]	260,000	[D]	180,000	

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

# NPO活動資金助成金対象事業報告書(令和3年度)

団体名	特定非営利活動法人てんぐるま
事業名	誰一人取り残さない学校教育を考える杉並アクション
事業(該当区分に○)	1. スタートアップ事業 <input type="radio"/> 2. ステップアップ事業 <input checked="" type="radio"/>
事業概要	①学習会「子どもの未来と主権者教育」②連続講座1、「みんなの学校」プロジェクト、「みんなの学校」上映会＋対談「みんなの学校」初代校長×関西テレビ企画者③連続講座2、講座参加者(障害当事者、保護者)によるシンポジウム、誰もが同じ教室で学ぶ意義を考える。④学習会「今、子どもの権利は？」⑤障害児・者就学・生活相談
事業目的	コロナウィルス感染拡大の影響は、社会の分断を招き、影響は学校教育にまで及んでいる。SDGsの基本理念「誰一人取り残さない」社会の達成に向けて学校教育のあり方を学び、考え、理解・啓発につなげる。SDGs時代にこそ重要になる、行政とNPOと区民の「協働」を推進し、共生社会の実現の一助とする。

## 1 事業の実施状況 及び 自己評価

実施状況	事業計画	事業実施結果
	①実施対象者・対象人数(延べ人数) 対象者:区民、障害当事者、保護者、教育・福祉関係者 ・対象人数:会場50人・オンライン50人 ・相談会20人 ・延べ人数420人	・対象者 区民、障害当事者、保護者、教育・福祉関係者 ・参加者 ①10.24 会場22人 オンライン8人 計30人 ②11.27 会場96人 ③2022年2.23 会場25人 オンライン35人 計60人 ④2.26 会場24人 ⑤相談会18人 延べ228人 障害児と保護者、教員、福祉関係者多数参加
	②実施内容 ・学習会「子どもの未来と主権者教育」(仮題) ・連続講座1、「みんなの学校」プロジェクト、「みんなの学校」上映会＋対談 初代校長×関西テレビ企画者 ・連続講座2、講座参加者(障害当事者、保護者)によるシンポジウム、誰もが同じ教室で学ぶ意義を考える ・学習会「今、子どもの権利は？」 ・障害児・者就学・生活相談	①学習会「学校のことってだれがきめるの？がっこうをつくる？」講師 障害当事者川端舞、障害児保護者 ②「みんなの学校」上映会&フォーラム 進行迫川緑(みんなの学校企画) 障害当事者長田直也 他 ③医療的ケア児支援法施行とインクルーシブ教育 講師加藤千穂(永田町子ども未来会議事務局長) 静岡県社会福祉協議会での海老原宏美(昨年末44歳で死去)の講演映像上映 ④「障害児と介助者と保護者と教員の関係性を考える」ドキュメント「二人の知的障害者 地域で暮らす意味」上映 障害当事者、学校支援員、障害児保護者、教員座談会 ⑤障害児・者の就学・自立生活相談
	③実施回数・スケジュール・実施場所 1回目 阿佐ヶ谷地域区民センター 9月開催 2回目 阿佐ヶ谷地域区民センター 10月開催 3回目 阿佐ヶ谷地域区民センター 11月開催 4回目 阿佐ヶ谷地域区民センター 2022年1月開催 相談会 てんぐるま事務所他 随時開催	①高井戸地域区民センター 10月24日開催 ②阿佐ヶ谷地域区民センター 11月27日開催 ③阿佐ヶ谷地域区民センター 2022年2月23日開催 ④コミュニティフラット馬橋 2月26日開催 ⑤てんぐるま事務所等 18回随時開催
	④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況) 講師確保 スタッフ8名 ボランティア7名 デザイナー1名	講師 医療的ケア児支援法成立に尽力した講師、障害当事者、障害児保護者、教員等多数 スタッフ8名 ボランティア(区内の学童クラブの職員)延べ14人 デザイナー1名 Web設備で2回配信
	⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況) チラシ配布 団体SNS 広報すぎなみ その他	チラシ配布2回 団体SNS フェイスブック、ライン等

## 2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

		事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	<b>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>		
		SDGsの目標が日本社会においても謳われる中、コロナウィルスの影響により、休校や授業のオンライン化が求められ、子ども同士の交流はもちろん、あらゆる学校活動が停滞している。特に、障害児や不登校児童等の特別な支援を必要とする子どもへの影響や、多忙な教員の職務への影響は大きい。	「みんなの学校」上映とフォーラムの参加者の感想(参加者の1割が教員や研究者) 「教員としてまだまだできること、やるべきことがたくさんあると思った」「スクールソーシャルワーカーです。学校と家庭をつなぐ立場としてヒントをたくさん得た」「インクルーシブ教育がインクルーシブ社会を作ることが分かってきた」
		【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b> <input checked="" type="checkbox"/> ①あった <input type="checkbox"/> ②概ねあった <input type="checkbox"/> ③あまりなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった	
	<b>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</b>		
		杉並区は、障害者手帳所持者が人口よりも高い増加率になっており、区の調査でも多くの障害者が偏見を感じている。SDGsにおいて保護者、地域住民、学校が協働する住民参加型の教育開発の「みんなの学校プロジェクト」がある。杉並においても地域の繋がりが重要である。「てんぐるま」は持続して取り組んできた。	杉並区の「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」の取り組み中で、インクルーシブ社会の実現を訴え、障害者が、杉並の学校や社会から排除されずに普通に「いる」ことが大切であること、誰もが命と人権を大事にされ、誰もが排除されずに暮らしていける優しく、思いやりのある町、杉並を作る活動になった。インクルーシブ教育を訴えてきた当NPOだから様々な方が講師になり、様々な方が協力し、参加した。
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b> <input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>			
	SDGsの理念や目標の啓発。住民参加型の学校運営についての理解促進。インクルーシブ教育な平等な教育へのアクセス、障害児をはじめとする子どもの教育や職業訓練への理解。「障害」に対する区民の理解を深め、偏見・差別の解消への一歩。 これまでインクルーシブ教育の啓発活動や障害児と家族の生活相談を行ってきた。助成を受け、上記の活動を地域における「協働」に発展させる。事業の継続が保障され、障害者・団体とのネットワークが強化・拡大され、今後の事業展開の推進力になる。	学習会では、日本の学校教育の現状が話され、子どもの主体性を重んじる外国の事例を交えながら主権者教育について考えた。障害当事者は買い物などで介助者にのみ話しかける例が後を絶たない体験を話した。インクルーシブ教育を通じて、子どもの時から当事者の存在を認識する社会づくりを進めていかなければいけないと訴えた。参加者の障害を持つ子どもの保護者の胸に響いた。インクルーシブな社会の実現へ、教育の果たす役割は大きく、SDGsの基本理念である「誰も置き去りにしない」共生の地域を目指す活動の一助になり、協働へのネットワークが拡大された。	
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b> <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>			
	NPO法人ワーカーズコープの学童クラブメンバーが子どもスペースのボランティアを行う。初めて参加した方が次回の参加、活動への協力を申し出る。コロナ禍で困難なこともあったが、多くの方の協力で事業が成功して理解者や支援者も広まった。障害児の就学相談、障害者の自立相談を受け、ともにインクルーシブ社会の実現へ協力する方が増えた。通常学校で障害児のサポートをしている介助者の話が聞ける学習会に障害当事者、障害児の親、教員、福祉関係者が多く参加した。インクルーシブ教育の必要性は、共通の思いであることを確認した。		
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b> <input checked="" type="checkbox"/> ①広がった <input type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかった		

### 3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

自己評価	コロナ禍に翻弄されて、計画通りにはいかなかった。事業の中身、日程、講師の変更を余儀なくされた。しかし、これまでにない内容で開催できた。
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b> <input type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input checked="" type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった

### 4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	配布チラシに「このイベントは杉並区NPO活動資金助成事業で実施しています」の文章を入れ、会場でのあいさつで助成事業への支援を訴えています。会場では、募金箱を置き、のぼりなどを設置した。
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b> <input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった

### 5 課題と今後の活動について

今後の課題と活動	コロナ禍で、予定の変更が多々あった。今後は早めに講師を決定して、会場を確保してスケジュールに沿って開催していきたい。今後も共生社会の実現へインクルーシブ教育の推進を訴えていく。4月には障害者のグループホームを開所して地域での自立をサポートしていく。誰もが排除されない権利があり、そこにいることが当たり前で、権利であることを主張しなくても良い地域の実現へ活動していく。
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6 活動状況について





7 収支決算

事業費	[D]	352,116	助成金	[E]	150,000
-----	-----	---------	-----	-----	---------

	予算額		決算額		決算額内訳
収入					
団体負担金		143,400		102,616	
参加費・資料代等		160,000		11,000	学習会(10/24)参加費@500円×22名
				82,000	映画会・フォーラム(11/27)参加費@1,000円×82名
				6,500	学習会(2/26)参加費@500円×13名
その他の収入					
計	[C]	303,400	[F]	202,116	自己資金等
助成金	[B]	150,000	[E]	150,000	NPO活動資金助成金
合計	[A]	453,400	[D]	352,116	

費目	予算額		決算額		決算額内訳	
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費		
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)			40,000	20,000	10.24/2.23/2.26学習会講師謝礼@10,000円×2時間×3名	
				48,000	10.24/11.27パネラー謝礼@4,000円×3時間×4人	
				10,000	11.27ファシリテーター謝礼@10,000円(3時間)×1人	
			15,000		2.26学習会講師謝礼@2,500円×2時間×3人	
	小計	35,000	53,000	55,000	78,000	
②旅費・交通費				5,258	パネリスト交通費	
				9,890	駐車代	
				5,940	講師交通費	
	小計	30,000	100,000	0	21,088	
③備品費・消耗品費			4,300		イベント用備品	
				12,000	看板製作費4回	
				2,960	コピー代	
	小計	2,600	50,400	4,300	18,780	コロナ対策備品検温、アルコール
④通信運搬費			308		郵便代	
	小計	2,000	0	308	0	
⑤印刷製本費 (デザイン・原稿作成含む)			2,000		10.24チラシ300枚	
			2,600		11.27チラシ600枚	
	小計	12,000	40,000	4,600	20,000	チラシデザイン4回
⑥使用料・賃借料			5,800	2,100	会議使用料6回	
			26,900		10.24/11.27会場使用料	
			40,000	21,000	「みんなの学校」上映権	
	小計	68,400	20,000	86,900	23,100	2.23/2.26会場使用料
⑦その他の経費				21,000	ボランティア実費弁償@1,500円×7名×2回	
				440	振込手数料	
				600	行事保険	
	小計	0	40,000	0	40,040	相談ボランティア1,000円×1名×18回
合計			151,108	201,008	0 戻入額[B]-[E]	
	[B]	150,000	[C]	303,400	[E]	150,000
	[A]	453,400	[D]	352,116	[F]	202,116

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

# NPO活動資金助成金対象事業報告書(令和3年度)

団体名	特定非営利活動法人むさしの児童文化協会
事業名	口演童話の普及と講師養成
事業(該当区分に○)	1. スタートアップ事業 <input type="radio"/> 2. ステップアップ事業 <input checked="" type="radio"/>
事業概要	「子ども達の傍らにいる大人が子ども達に直に語りかけていく」口演童話の取り組みを更に展開していく。その為により良質な児童文化を研究する学びの場を確保し講師を養成していく。
事業目的	久留島武彦氏が唱えた口演童話(目の前の子どもたちに肉声で話を届ける児童文化活動)活動、及び日本の伝統文化の体験を届ける活動を通し、子どもの健やかな成長を見守る。あわせて、世代を超えたふれあい、温もりのある、地域づくりに取り組む。

## 1 事業の実施状況 及び 自己評価

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	①実施対象者・対象人数(延べ人数)	①・保育園園児・対象人数 延べ850人 内 杉並区200名 ・図書館 親子 対象人数 100人 杉並区 ・学童 20名 杉並区 ・高齢者 200名 区外 ・会員 対象人数 250人 ・区内在住者 対象人数60人
	②実施内容 保育園・図書館などへの口演童話活動 特別講師による講習会 わらべ歌、手遊びの内部講習会 スキルアップのための自主研修会	②実施内容 保育園・図書館などへの口演童話活動 特別講師による講習会 わらべ歌、手遊びの内部講習会 会員自主研修会
	③実施回数・スケジュール・実施場所	①保育園・図書館等の口演童話活動 緊急事態宣言中を除き各施設の要望があれば実施した。 保育園 12回 図書館 8回 高齢者施設 7回 公園イベント1回 ・特別講師講習会 1回 西荻地区区民センター ・内部講師講習会 2回 西荻ベース 西荻南 ・語りシンポジウム 1回 高井戸地区区民センター
	④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況) 講演会、講習会、ワークショップは NPO理事が企画、運営する	④講習会、ワークショップは理事が企画運営した。 口演については、事務局で調整し、口演者の調整連絡をした。
	⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況) 広報活動(団体活動や事業の周知・PR(集客)方法) [ チラシ配布・団体WEBサイト・SNS・広報すぎなみ・すぎなみ地域コム ] [ その他 ] NPO所属の各会が発行する会報や、NPO通信で広報していく	⑤チラシ配布 NPO通信、各分科会会報及び各分科会で周知した。 特別講師講演会は広報すぎなみに掲載。

## 2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

		事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	<b>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>		
	子どもたちが幼い時からゲーム機・スマートフォンに触れる昨今に於いて、口演童話の大切さをあらためて実感している。現在では区民施設、保育園や小学校 からも口演活動に要請が次々と寄せられるようになった。今まで以上に地域に根差した活動が求められている。口演活動の実施と併せて、語り手の育成が必要である。	口演活動は図書館、保育園、高齢者施設で、実施できた。しかし新型コロナウイルス感染状況に応じ、口演の取りやめも今年度も多くなった。講師養成に関しては特別講師研修会を実施できた。また自主講習会も行い、次年度以降のメンバーの力量向上ができた。また、NPOメンバー以外の若い現役保育士の参加も見受けられた。	
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
	<input type="checkbox"/> ①あつた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねあつた <input type="checkbox"/> ③あまりなかつた <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかつた		
	<b>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</b>		
	杉並には「人材を地域や教育の現場に活かす」という機運がある。当NPOは、様々な分野の人材が豊富で、朝市では公園で子ども向けお話会に取り組み、地域祭りでは玉すだれを披露、小学校や児童館には語りや昔遊びの講師を派遣してきている。	朝市で、毎月口演童話活動をしてきたが、朝市が無くなり口演もできなかつた。しかし、長年の地域とのつながりでクリスマスイベントに口演依頼があつた。また、まちかどコミュニティ西荻南で抹茶席の際語りを披露した。地域の小学校保育施設地域祭りへの、玉すだれや昔遊びや人形劇口演依頼が次々と入り地域での関係が強くなつていふことを実感した。(残念ながら延期されるイベントも多かつた。)	
【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>			
<input type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかつた <input checked="" type="checkbox"/> ④ほとんどできなかつた			
<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>			
当NPOへの関心も高まり、ともに活動する地域のメンバーが増えている。子供は地域の大人の顔見知りが増え、大人たちが見守っている安心感が生まれている。口演童話を重ねて聞くと、話を集中して聞くことが出来るようになり、学習への集中力も育つ。日本の伝統文化体験は、子どもたちの情操教育に効果がある。助成金を受けることで、講師を招請して構成員の研修を実施でき、さらに質の高い活動が提供できるようになる。構成員の技術向上は、口演先の保育士の技術向上に繋がる	コロナ禍であつたが当NPOへの関心も高まり、ともに活動する地域のメンバーが増えた。図書館、保育園、児童館での口演童話活動も回数は減つたが実施できた。講師事業を実施し、その後実際メンバーを講師として講習会も実施できた。		
【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>			
<input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかつた <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかつた			
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>			
広報に活動が乗つたことなどから、次々協働事業の提案をいただいた。6月、1月は放課後事業でパペットのワークショップをした、3月は角川庭園で人形劇上演とペープサートのワークショップ依頼があつた。12月12日は、西荻商店街のクリスマスイベントに参加し、公園で口演童話をした。(コロナ前の朝市の時から参加していた。) 特別講師事業の参加者から、会員になるケースもあつた。			
【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> ①広がつた <input type="checkbox"/> ②多少広がつた <input type="checkbox"/> ③広がらなかつた			

### 3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

自己評価	<p>口演童話の普及のための講習会、勉強会は予定通り実施できた。zoom活用もし、継続的な研修が出来た。一方口演活動は、新型コロナウイルス感染増加の為、当初予定の半分以下の実施となった。しかし予定した講師事業は盛況のうちに実施できた。また、発表の機会が少なくなった分科会会員がNPO 秋の収穫祭を実施し、多くの方に見ていただけた。新規メンバーの加入にも繋がり、各会の今後の活動の良い刺激となった。また12月5日に『語りシンポジウム』を実施した。外部の語りに関する有識者が『語ること』の大切さについて意見交換でき今後の語り手育成の方向性を考える良い機会となった。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input type="checkbox"/> ①できた                 <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた                 <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった                 <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった             </p>

### 4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	<p>朝市が開かれず、当初予定した毎月の普及活動はできなかった。しかし、会員中心のイベントでは支援金について、普及啓発を行った。特にまちかどコミュニティ西荻南での、地域の方を巻き込んでの『抹茶のひと時』5回開催時には、地域の方や通行する方々に宣伝が出来た。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input type="checkbox"/> ①できた                 <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた                 <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった                 <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった             </p>

### 5 課題と今後の活動について

今後の課題と活動	<p>NPOむさしの児童文化協会の、広いジャンルの活動が地域で認知度が上がるにつれ、口演童話を語る活動以外に、南京玉すだれ上演依頼やお茶の体験活動の依頼、人形劇上演の依頼が増えてきた。今後は、活動の二本の柱である、『和の文化体験』の普及にも力を入れて取り組みたい。そのため、南京玉すだれ講習会、抹茶体験、わらべ歌・昔遊びの伝承活動も充実していきたい。地域の方々を巻き込んでの活動をますます目指したい。</p>
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真などを貼付



11月14日  
藤田浩子講演会 AM

NPO秋の収穫祭 PM



人形劇上演  
保育園 12月8日

12月5日  
語りシンポジウム  
高井戸地区地域センター



1月26日  
パペットワークショップ  
放課後事業和泉んな



7 収支決算

事業費	[D]	225,271	助成金	[E]	126,371
-----	-----	---------	-----	-----	---------

	予算額		決算額		決算額内訳
収入	団体負担金	125,000	38,900		会員会費
	参加費・資料代等	50,000	30,000		口演童話普及事業 参加費、口演謝礼費
	その他の収入	30,000	30,000		寄付金
		119,717			繰越金
	計	[C] 324,717	[F] 98,900		自己資金等
	助成金	[B] 152,000	[E] 126,371		NPO活動資金助成金
	合計	[A] 476,717	[D] 225,271		

費目	予算額		決算額		決算額内訳
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費	
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)			20,000	10,000	講師謝礼@10,000×1回
	小計	20,000	10,000	20,000	10,000
②旅費・交通費			5,000		講師交通費@5,000×1回
	小計	68,600	79,200	35,360	33,900
③備品費・消耗品費			21,261		マウスシールド50個 厚紙 パネル紙4冊、糊、ポンド、靴下、カラー軍手
	小計	22,200	26,800	21,261	30,000
④通信運搬費			2,000		運搬費収穫祭機材搬入搬出@2,000×1回
	小計	6,000		2,000	0
⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む)					
	小計			0	0
⑥使用料・賃借料			25,700		会場費 講師講演会・収穫祭
	小計	11,400	93,600	25,700	25,000
⑦その他の経費			22,050		ボランティア保険 @350×63名
	小計	23,800	115,117	22,050	0
合計			126,371	98,900	25,629 戻入額[B]-[E]
	[B]	152,000	[C] 324,717	[E] 126,371	[F] 98,900
	[A]	476,717	[D] 225,271		

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。